

特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援する。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切に
した生活を提供する。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、
信頼される施設を目指す。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献する。

2 今年度重点事業目標

(1) 重度者ケアの充実

- ア サービス担当者会議などを通じて情報共有し、嚥下機能低下防止や褥瘡予防等、利用者の
心身の状態に応じたケアを行い、多職種協働で安心安全な生活を提供する。
- イ 褥瘡防止や利用者・職員双方の負担軽減のため、利用者の身体状況に応じた福祉用具を
活用するとともに、ノーリフトケアを実践する。
- ウ 嘱託医と連携を密にとり利用者の健康管理に努める。また、日々の観察で異常を早期に
発見し、低栄養などを防止する。
- エ 穏やかな最期を迎えられるよう、多職種で食事の検討を行うなど、連携して利用者及び
家族の気持ちに寄り添ったターミナルケアを行う。

(2) 個別ケアの充実

- ア 利用者の好みや意向に沿った24時間シートを作成し、多職種で連携しより良いケアに
繋げる。
- イ ICT機器を導入。利用者の生活リズムの把握や職員間での情報共有に機器を活用し、
業務の効率化を図る。
- ウ 利用者の意向に合わせた食事の提供をし、食事の満足度を向上させる。
- エ 活動内容の拡充を図りクラブ活動や行事へ参加して頂くとともに、身体状況に応じた
プログラムを提供し、活動量の向上を図る。
- オ 嘱託医と連携を図り入所前に受けていたケアや状態にあった治療等を受けられるように
配慮をする。

(3) その他

- ア 高稼働率の維持に努める。
 - (ア) 入所年間平均97%以上、短期入所50%以上を確保する。
 - (イ) 欠員期間短縮に努める(10日以内の欠員補充を継続)。
- イ 感染症対策として、関係機関や苑内の各部署と連携を図り、感染拡大防止と早期収束に
向けた対応を行う。また、さくら連絡網を活用し情報共有をする。
- ウ 積極的な情報発信を行い、入所申込者の増加を図る。